

工事起工 概要書

部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	係 員	審 査 員	設 計 者							
執 行 年 度	平成 29 年度													
工 事 番 号 工 事 名	28 緑国補・29 単合併市道 B112 号線 第 29-01-204-3-002 号 道路舗装補修工事 起工 設計書													
工 事 場 所 又は履行場所	石岡市 下林 地内													
施 工 方 法	請 負					原契約年月日	年 月 日							
工 期 又 は 履 行 期 間	平成 年 月 日 から 平成 30 年 3 月 15 日 まで 日間													
受 注 者														
費 目	起 工	第 1 回変更			増 減 (△)			変更請負に付する工事価格 = 変更積算工事価格 × 請負比率 請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第 7 位切り捨て 6 位止め) 変更積算工事価格 — 円 請負比率 — 変更工事価格 — 円						
起 工 額														
請負(委託) に付する額														
工事(業務) 価 格														
測量試験費 又は工事雑費														
消費税相当額														
請負(委託) 決 定 額														
工 事 概 要														
内 容			規格 1	数量 1	単位 1	規格 2	数量 2	単位 2	規格 3	数量 3 単位 3				
道路舗装修繕工事			L =	129.6	m	W =		m	T =	c m				
路面切削工 A = 1010.0 m ²														
表層工 A = 1012.0 m ²														
区画線工 L = 488.0 m														
変更理由														

位置図

工事箇所



特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

第4条 工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工 種	作業時間帯	期 間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたりサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工 種	リサイクル建設資材	規 格
舗装打替え工	再生アスファルト	再生密粒度As(20)
舗装打替え工	再生アスファルト	再生改質AsⅡ型(20)
舗装打替え工	粒度調整砕石	M-30

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、別添図面のとおり、交通誘導員〇名(うち交通誘導警備業務に係る一級または二級検定合格警備員〇名)及び保安要員〇名を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに、別添図面の配置により難しい場合には、監督員と協議すること。

(発生土の処理)

第10条 本工事における発生土については、下記により搬出すること。

- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は、設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)、が管理する所定のストックヤードを利用すること。
- (2) 工事着手前に、ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
- (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し、必要な試験を行うとともに、その結果を管理センターへ提出すること。
- (4) 搬出する10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程等について打ち合わせを行うこと。
- (5) スtockヤード利用料金は、設計地山土量1m³当たりの単価で算出し、管理センターの請求により支払うこと。
- (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。

- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
 - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

工 事 数 量 総 括 (内 訳) 表

第 29-01-204-3-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金 額	細 別 内 訳
道路修繕						
			1	式		
舗装工						
			1	式		
路面切削工						路面切削 1,010.000 m2
			1	式		殻運搬(路面切削) 50.000 m3
舗装打換え工						殻処分 50.000 m3
			1	式		表層 1,012.000 m2
区画線工						
			1	式		
区画線工						熔融式区画線 488.000 m
			1	式		
共通仮設						
			1	式		
共通仮設費						
			1	式		
安全費						安全管理員 4.000 人日
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設費 (率計上)						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
契約保証費用						
			1	式		

工 事 数 量 総 括 (内 訳) 表

第 29-01-204-3-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金 額	細 別 内 訳
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

--

本 工 事 費 内 訳 書

第 29-01-204-3-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
道路修繕									
舗装工									
路面切削工									
路面切削						m2			
					1,010.000				
路面切削 施工区分・平均切削深さ(全面切削6cm以下 (4000m2以下)), 段差すりつけの撤去作業 (無し), 費用の内訳(全ての費用)						m2			施工 P 第0001号代価表
					1,010.000				
不陸整正 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(49mm以上55mm未満), 補足材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)						m2			施工 P 第0002号代価表
					1,010.000				
殻運搬(路面切削)						m3			
					50.000				
殻運搬(路面切削) DID区間の有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (18.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)						m3			施工 P 第0003号代価表
					50.000				
殻処分						m3			
					50.000				
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 切削材 40cm以下						t			
					118.000				
舗装打換え工									
表層						m2			
					1,012.000				
表層(車道・路肩部) 平均幅員(1.4m以上), 1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種類(ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3), 費用の内訳(全ての費用)						m2			施工 P 第0004号代価表
					701.000				

本 工 事 費 内 訳 書

第 29-01-204-3-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
				表層(車道・路肩部) 平均幅員(1.4m以上),1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm),材料(密AS混ボ リマ改質ASII型(20) DS3000),瀝青材料種類(タックコート PK-4),費用の内訳(全ての費用)	311.000	m2			施工P 第0005号代価表
区画線工									
区画線工									
熔融式区画線					488.000	m			
区画線設置(実線・白・W=15cm)				施工方法区分(熔融式手動),規格・仕様区分(実線・ゼブラ 15cm),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業の補正(無),塗布厚1.0mmの場合の補正(無(厚1.5mm)),排水性舗装に施工する場合の補正(無),未供用区間の場合の補正(無)	369.000	m			
区画線設置(実線・白・W=45cm)				施工方法区分(熔融式手動),規格・仕様区分(実線・ゼブラ 45cm),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業の補正(無),塗布厚1.0mmの場合の補正(無(厚1.5mm)),排水性舗装に施工する場合の補正(無),未供用区間の場合の補正(無)	56.000	m			
区画線設置(破線・白・W=15cm)				施工方法区分(熔融式手動),規格・仕様区分(破線 15cm),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業の補正(無),塗布厚1.0mmの場合の補正(無(厚1.5mm)),排水性舗装に施工する場合の補正(無),未供用区間の場合の補正(無)	47.000	m			
区画線設置(矢印・記号文字・15cm換算)				施工方法区分(熔融式手動),規格・仕様区分(矢印・記号・文字 15cm換算),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業の補正(無),塗布厚1.0mmの場合の補正(無(厚1.5mm)),排水性舗装に施工する場合の補正(無),未供用区間の場合の補正(無)	16.000	m			
共通仮設									

本工事費内訳書

第 29-01-204-3-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費									
安全費									
安全管理員						人日			
					4.000				
交通誘導警備員B						人			
					4.000				
直接工事費計									
共通仮設費（率計上）									
共通仮設費計									
純工事費									
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
契約保証費用									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 路面切削

施工P(機55.13%, 労38.65%, 材6.22%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 2 0 4 - 3 - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
路面切削機 [ホイール式・廃材積込装置付] 切削幅 2.0m 深さ 23cm	34.030	%			K1
路面清掃車 [ブラシ・四輪式] ホッパ容量 1.5m ³	6.820	%			K2
普通作業員	13.740	%			R1
世話役	3.960	%			R2
特殊作業員	3.910	%			R3
運転手 (特殊)	3.840	%			R4
軽油 1.2号	4.610	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 施工区分・平均切削深さ	1	全面切削6cm以下 (4000m ² 以下)
J 0 2 段差すりつけの撤去作業	1	無し
J 0 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 不陸整正

施工P(機19.01%, 労36.02%, 材44.97%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 2 0 4 - 3 - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1 m	7.580	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10～12 t 締固め幅 2.1 m	5.920	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8～20 t	5.510	%			K3
運転手 (特殊)	21.730	%			R1
普通作業員	14.290	%			R2
粒度調整砕石 M-30	41.560	%			Z1
軽油 1.2号	3.410	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 補足材料の有無	2	有り
J 0 2 補足材料平均厚さ	13	49mm以上55mm未満
J 0 3 補足材料	11	粒度調整砕石 M-30
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 殻運搬(路面切削)

施工P(機45.55%, 労42.90%, 材11.55%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 2 0 4 - 3 - 0 0 2 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	45.550	%			K1
運転手 (一般)	42.900	%			R1
軽油 1.2号	11.550	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 DID区間の有無	1	無し
J 0 2 運搬距離 (km) (DID区間無)	20	18.5km以下
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.40%, 労8.46%, 材88.14%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 2 0 4 - 3 - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要																		
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4～6.0m	1.840	%			K1																		
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8～20 t	0.510	%			K2																		
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10～12 t 締固め幅2.1 m	0.510	%			K3																		
普通作業員	3.070	%			R1																		
特殊作業員	1.750	%			R2																		
運転手 (特殊)	1.710	%			R3																		
世話役	0.580	%			R4																		
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	80.970	%			Z1																		
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.830	%			Z2																		
軽油 1.2号	0.290	%			Z3																		
			(標準単価 積算単価)																		
<table><tr><td>条件名称</td><td>入力値</td><td>入力名称</td></tr><tr><td>J 0 1 平均幅員</td><td>3</td><td>1.4m以上</td></tr><tr><td>J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下</td><td>50</td><td>50 mm</td></tr><tr><td>J 0 5 材料</td><td>10</td><td>再生密粒度アスファルト混合物 (20)</td></tr><tr><td>J 0 6 瀝青材料種類</td><td>2</td><td>プライムコート PK-3</td></tr><tr><td>J 0 7 費用の内訳</td><td>1</td><td>全ての費用</td></tr></table>						条件名称	入力値	入力名称	J 0 1 平均幅員	3	1.4m以上	J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm	J 0 5 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)	J 0 6 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3	J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用
条件名称	入力値	入力名称																					
J 0 1 平均幅員	3	1.4m以上																					
J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm																					
J 0 5 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)																					
J 0 6 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3																					
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用																					

第 0005 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.57%, 労8.88%, 材87.55%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 2 0 4 - 3 - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要																		
A Sフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型（第2次） 舗装幅2.4～6.0m	1.920	%			K1																		
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型（第1次）] 運転質量8～20 t	0.540	%			K2																		
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型（第1次）] 運転質量10～12 t 締固め幅2.1 m	0.540	%			K3																		
普通作業員	3.220	%			R1																		
特殊作業員	1.840	%			R2																		
運転手（特殊）	1.790	%			R3																		
世話役	0.610	%			R4																		
改質アスファルト混合物 密粒AS混合物ポリマ改質ASII型（20）	84.760	%			Z1																		
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.440	%			Z2																		
軽油 1.2号	0.300	%			Z3																		
			（標準単価 積算単価		）																		
<table><tr><td>条件名称</td><td>入力値</td><td>入力名称</td></tr><tr><td>J 0 1 平均幅員</td><td>3</td><td>1.4m以上</td></tr><tr><td>J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下</td><td>50</td><td>50 mm</td></tr><tr><td>J 0 5 材料</td><td>17</td><td>密AS混ホリマ改質ASII型（20）DS3000</td></tr><tr><td>J 0 6 瀝青材料種類</td><td>1</td><td>タックコート PK-4</td></tr><tr><td>J 0 7 費用の内訳</td><td>1</td><td>全ての費用</td></tr></table>						条件名称	入力値	入力名称	J 0 1 平均幅員	3	1.4m以上	J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm	J 0 5 材料	17	密AS混ホリマ改質ASII型（20）DS3000	J 0 6 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4	J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用
条件名称	入力値	入力名称																					
J 0 1 平均幅員	3	1.4m以上																					
J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm																					
J 0 5 材料	17	密AS混ホリマ改質ASII型（20）DS3000																					
J 0 6 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4																					
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用																					

設計数量総括表

設計書名：28線国補・29単合併市道B112号線 道路舗装補修工事

事業区分：道路維持・修繕・雪寒
工事区分：道路修繕

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘 要
舗装工								
	路面切削工							
		路面切削	t=5cm	m2		1012.7		
		殻運搬処理	As殻運搬	m3		50.6		
		殻処分費	As殻処分、掘削材	t		118.9		
	舗装打換え工							
		表層	再生密粒度7スコン、t=5cm	m2		701		
		表層	再生改質7スファルトⅡ型、t=5cm	m2		311.7		
		不陸整正	補足材M-30t=30	m2		1012.7		
区画線工								
	区画線工							
		熔融式区画線	実線・白色・W=15cm	m		369.2		
		熔融式区画線	実線・白色・W=45cm	m		56.9		
		熔融式区画線	破線・白色・W=15cm	m		47.3		
		熔融式区画線	矢印・記号文字 15cm換算	m		16.4		

面積計算表

工 削切路面 : 数量 : 4区
別 : 区分 : 路面切削
規格 : t=5cm

測 点	距 離 (m)	路面切削			摘 要
		幅 (m)	平均幅 (m)	面 積 (m ²)	
No. 105	—	7.31	—	—	
No. 106	20.00	7.40	7.355	147.1	
No. 107	20.00	7.39	7.395	147.9	
No. 108	20.00	7.38	7.385	147.7	
No. 109	20.00	7.46	7.420	148.4	
No. 109+14.60	14.60	7.60	7.530	109.9	シフト始め
No. 110	5.40	7.90	7.750	41.9	
No. 111	20.00	9.56	8.730	174.6	
No. 111+9.60	9.60	10.27	9.915	95.2	シフト終り
合計	129.60			1,012.7	

面積計算表

種 別：舗装打換え工
 区 分：4工区
 細 別：不陸整正
 規 格：補足材M-30t=30

測 点	距 離 (m)	路面切削			摘 要
		幅 (m)	平均幅 (m)	面 積 (m2)	
No. 105	—	7.31	—	—	
No. 106	20.00	7.40	7.355	147.1	
No. 107	20.00	7.39	7.395	147.9	
No. 108	20.00	7.38	7.385	147.7	
No. 109	20.00	7.46	7.420	148.4	
No. 109+14.60	14.60	7.60	7.530	109.9	シフト始め
No. 110	5.40	7.90	7.750	41.9	
No. 111	20.00	9.56	8.730	174.6	
No. 111+9.60	9.60	10.27	9.915	95.2	シフト終り
合 計	129.60			1,012.7	

区画線工

種別：区画線工
グロツク：数量調査
区分別：4工区
規格：溶融式区画線
細別：実線・白色・W=45cm
規

單位：m

[illegible]

区画線工

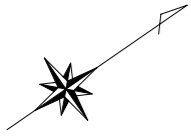
種別：区画線工
グロック分：数量調査
区別：4工区
細別：溶融式区画線
規格：矢印・記号文字 15cm換算

單位: m

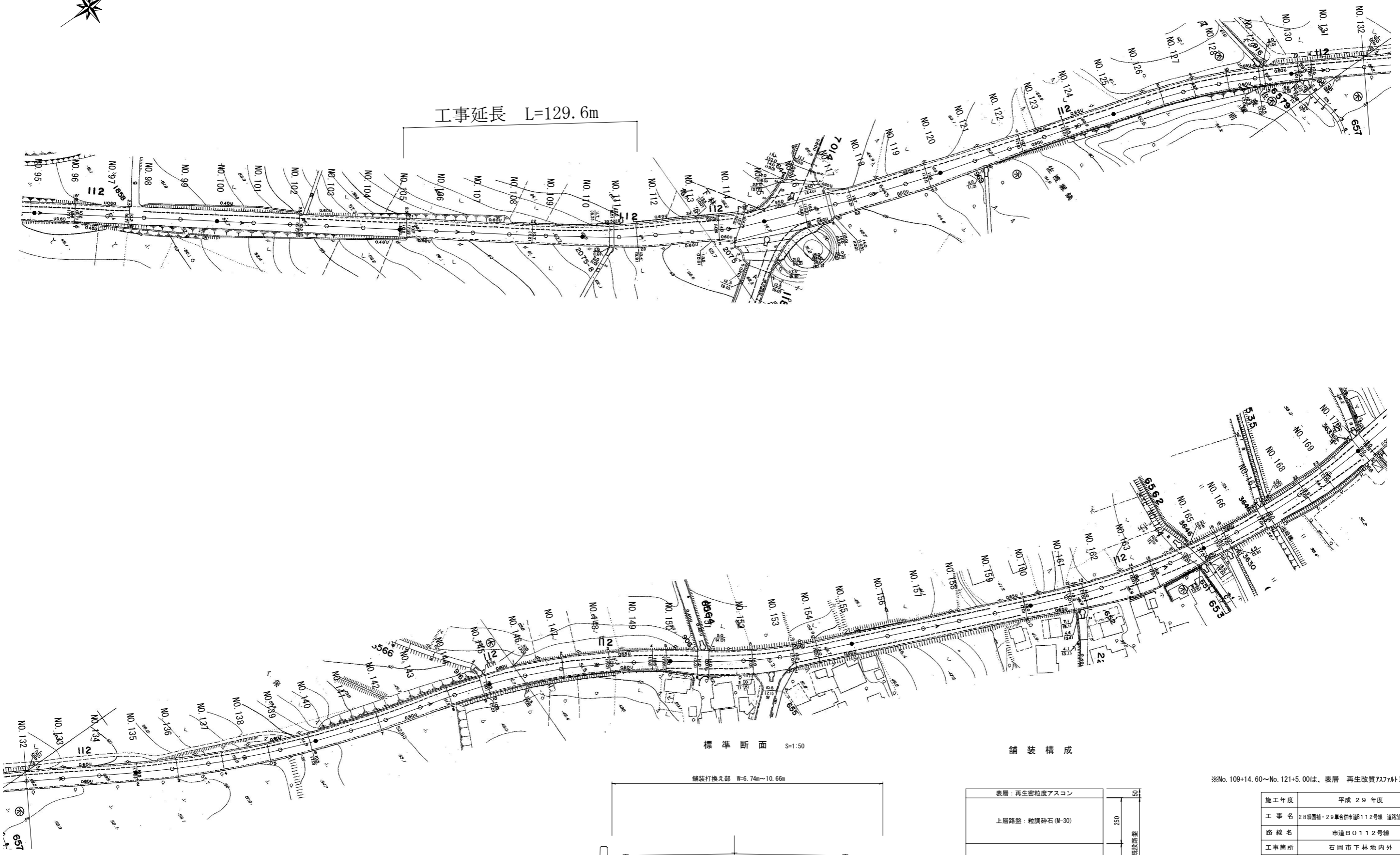
測 点	数 量	摘 要
No. 109+14.60～No. 109+19.60	8.2	直進右折予告矢印
No. 111+4.60～No. 111+9.60	8.2	直進右折予告矢印
合 計	16.4	

市道B0112号線 下林地区

[illegible]

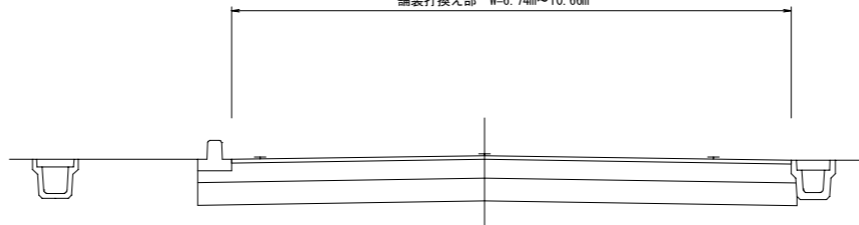


工事延長 L=129.6m



標準断面 S=1:50

舗装打換え部 W=6.74m~10.66m



舗装構成

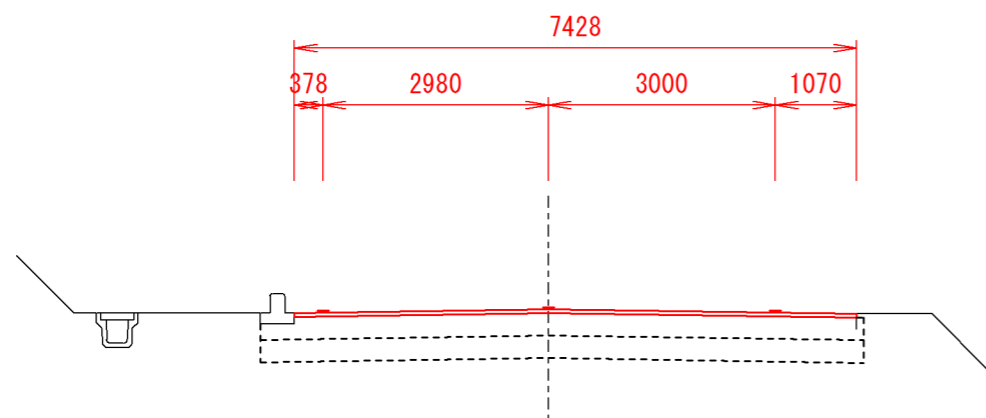
表層：再生密粒度アスコン	50
上層路盤：粒調砕石 (M-30)	250
下層路盤：切込砕石 (C-40)	300

※No. 109+14.60~No. 121+5.00は、表層 再生改質7σ7AⅡ型

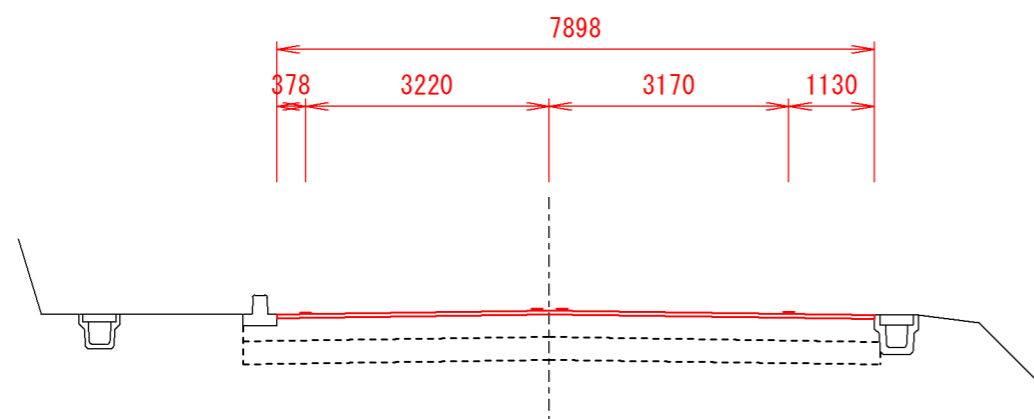
施工年度	平成 29 年度
工 事 名	28線国補・29車合併市道B112号線 道路舗装補修工事
路 線 名	市道B0112号線
工事箇所	石岡市下林地内外
図面種別	平面図
縮 尺	1 : 1,000
図面番号	1 / 2
内容表示	~

横断図

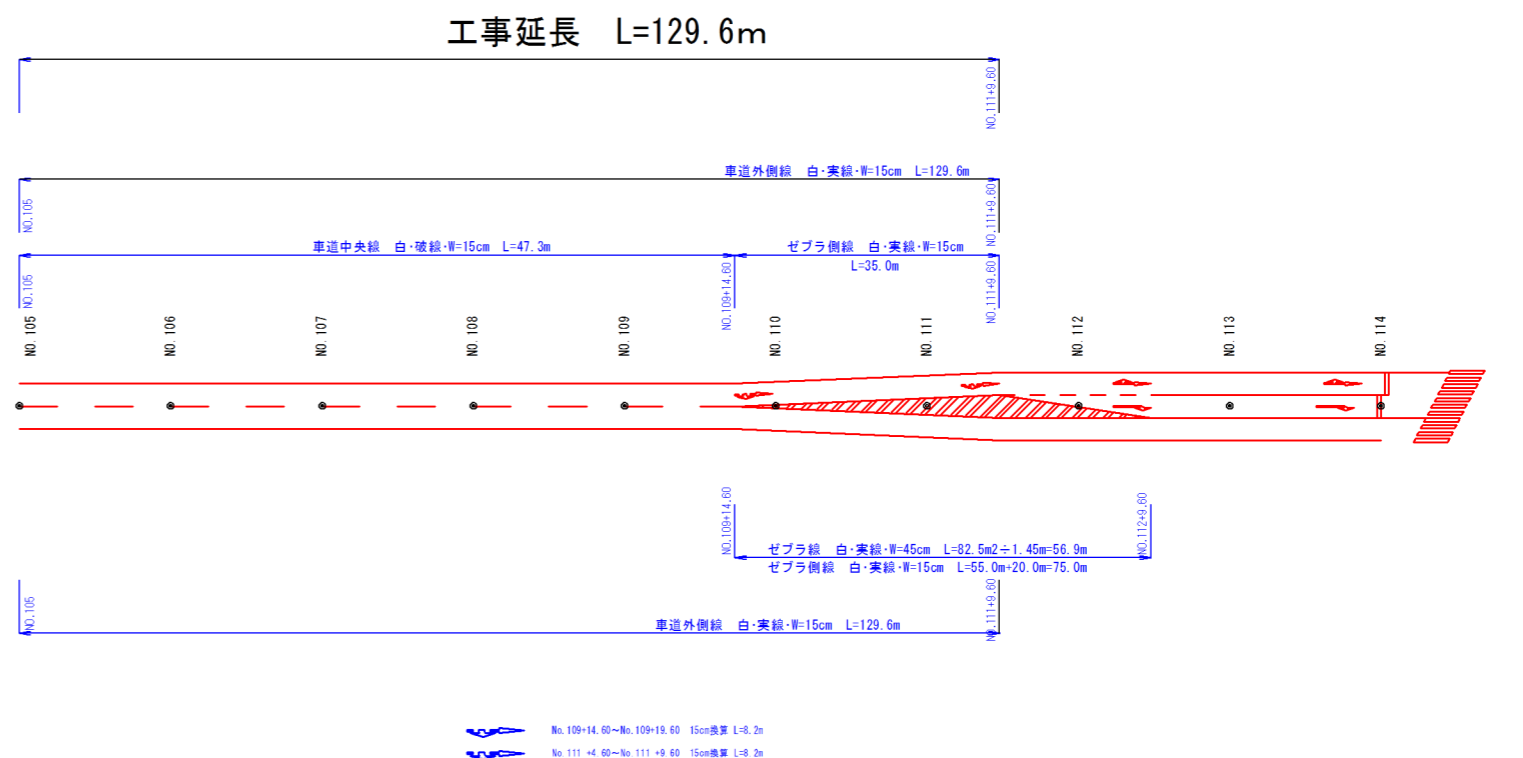
No. 105




No. 110



区画線図



工事名	28線国補・29単合併市道B112号線 道路舗装補修工事
工事場所	石岡市下林地内
図面番号	2 / 2
図面種別	横断図, 区画線図
縮尺	S=1 / 100
 石 岡 市	